

平成28年度板倉町社会福祉協議会事業報告書

1. 社会福祉活動の啓発宣伝

- 社協活動の住民周知及び活動の理解を得るために、社協だより（年4回）を発行し啓発に努めた。
- 社協のホームページを更新し新たな情報を提供するとともに、町民以外にも社協の事業への理解を図った。
- いたくら福祉まつりを開催し、福祉関連事業の趣旨普及に努めた。

2. 社会福祉の拡大と助長

(1) 低所得者対策

○ 生活福祉資金（県委託）

生活福祉資金は、低所得者世帯及び障害者世帯、高齢者世帯に対して必要な資金を低利あるいは無利子で貸し付けるもので、この利用により独立自活に必要な生活面での援助を行った。 継続貸付 7件

○ 小口生活資金（町社協）

低所得者世帯に対し、緊急かつ一時的に必要な生活資金を貸し付けるもので、資金の貸付により低所得者世帯の生活の助長安定を図った。 新規貸付 10件（420,000円）

(2) 高齢者・身体障がい児（者）福祉の増進

○ 地域支援事業の実施（地域包括支援センター、在宅支援センターと共催）

高齢者の閉じこもりと介護予防を目的としたサロンの普及と運営への協力。（13ヶ所）

高齢者を対象とした介護予防事業（アクティブ教室）の実施。 実施回数 16回 参加者延べ人数 212名

○ 介護用品の貸出

高齢者等の肉体的・精神的苦勞の軽減を図るため介護用品を無償で貸出した。

車椅子 11件 ベッド 3件

○ 福祉車両（車いす仕様車）の貸出

車いすを必要とする障がい者及び高齢者等への移動の援助として福祉車両を無償で貸出しを行った。 37件

○ 配食サービス事業

ボランティアみずほ会及び個人ボランティアの協力を得て、一人暮らし高齢者への配食サービスを毎月1回実施した。

利用者 67名 延べ人数 809名

一人暮らし高齢者世帯等へ、おせち料理を宅配した。 世帯数 87世帯

○ ダイヤモンド婚式・金婚式合同祝賀会

福祉センターを会場に、ダイヤモンド婚式及び金婚式を迎えたご夫妻に、記念品の贈呈と祝賀会を行った。

ダイヤモンド婚式 10組 金婚式 16組

○ クリスマスのつどいの開催

在宅障がい児（者）及びその家族を交えて、「クリスマスのつどい」を開催した。

○ 視覚障がい者音読サービス事業の実施

視覚障がい者等に対し、ボランティア「声のリボン」の協力を得て、町広報誌及び社協だより等の音読CDを貸出した。

○ 思いやり福祉サービス事業

介護保険制度を受けない高齢者や障害者で、日常生活においての軽微な支援が必要な方に対し、協力会員による有料のサービスを行った。 利用会員数 12名 協力会員数 13名 延べ利用者数 112名

○ 手話奉仕員養成講習会（館林市・板倉町・明和町合同）

開催日数 25日 参加者 4名

（3）児童福祉の増進

○ 板倉町学童保育対策事業管理運営（町委託） 板倉町北学童クラブ・みつばち学童クラブ

○ 社会福祉協力校（北・東・南・西小学校・板倉中学校・板倉高校）の活動に協力援助した。

○ 一円玉福祉募金（年2回：7月、12月） 実績額 38,221円

（4）福祉人材の育成

○ 大学等の社会福祉実習生を受け入れ、実習活動に協力した。

（5）福祉関係団体への協力と援助

○ 9団体（遺族会、老人クラブ連合会、みずほ会、やすらぎ会、母子寡婦会、心身障害児（者）療育父母の会、奉賛会、ボランティア連絡協議会、朗読ボランティア「声のリボン」）の事務及び活動への協力と援助を行った。

○ 遺族会の昇殿参拝事業及び町戦没者追悼式への協力など、戦没者の慰霊、遺族援護活動を行った。

○ 町民や社協等とのパイプ役として活躍する、民生（児童）委員の活動への協力を行った。

(6) ボランティアセンター事業運営の強化

- みずほ会、やすらぎ会、ボランティア連絡協議会、朗読ボランティア「声のリボン」の活動への援助を行った。
- ボランティア保険への加入促進、視察研修等の支援を行った。
- ボランティア需給のコーディネート活動を行った。
- 芸能ボランティア及び入浴サービスボランティア活動への協力を行った。

3. 募金運動の推進

(1) 赤い羽根共同募金の推進

- 赤い羽根共同募金 [10月1日から12月31日]

目標額 1,536,300円 募金実績額 1,968,881円 達成率128.15%

(2) 歳末たすけあい運動の推進

- 歳末たすけあい運動 [12月1日から12月31日] 実績額 1,847,322円
施設慰問及び町内配分を行った。

(3) 福祉バザーの実施

町民の温かい理解と協力により福祉バザーを実施した。 売上総額 615,140円

4. 福祉サービス利用支援事業

(1) 日常生活自立支援事業

- 認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等判断能力の低下から日常生活に支障をきたす方に対し、契約により福祉サービス利用のための支援や、日常的金銭管理の支援を行った。 利用者 11名 支援員 6名

5. 指定管理事業

- (1) 板倉町総合老人福祉センターの管理運営 (町委託) (実績は、別表のとおり)
- (2) 板倉町デイサービスセンターの管理運営 (実績は、別表のとおり)
- (3) 板倉町障害者生産活動センターの管理運営 (町委託) (実績は、別表のとおり)
- (4) 板倉町障害者デイサービスセンターの管理運営 (町委託) (実績は、別表のとおり)

6. 板倉町社会福祉協議会独自事業

- (1) 小規模多機能施設「えがお」の経営 (実績は、別表のとおり)